

ナンバリング	科目名		サブタイトル	担当教員	配当年学期	単位数
222BT07	交通環境論		環境政策・環境経営論から考える交通事業	笠井 文雄	2年次後期	2
科目区分	専門	キーワード	交通政策、環境政策、環境経営、大気汚染問題、エネルギー問題			
ディプロマポリシーとの対応		2. 交通産業および関連分野での基礎能力（技術・理論）を有し、関連分野で活躍可能な能力				
カリキュラムポリシーとの対応		1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける 2. 交通産業および関連分野で活躍するための基礎能力（技術・理論）を身につける				
事前に受講するとよい科目		交通概論、鉄道基礎、鉄道工学、鉄道数学、交通英語入門、交通英語、交通史、交通政策論				
オフィスアワー		授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。				
教員への連絡方法		教員の短大メールアドレス				
講義の目的	鉄道、自動車（道路輸送）、航空などの交通事業は、あらゆる場面で環境問題に密接に関わっています。一言で環境問題と言っても、交通事業においては温室効果ガスの排出、大気汚染、騒音など多岐にわたっており、それぞれの問題の対策には、個々の原因や背景を理解する必要があります。本講義では、交通事業を取り巻く環境問題を環境政策論や環境経営論の視点から理解してもらいます。					
到達目標	本講義では、①社会人として知っておくべき環境政策・環境経営に関する基礎概念を身につけること、②交通事業における環境対策について正確に理解すること、③企業の環境対策に関する自分なりの見解を持てるようになること、の3点を主な到達目標とします。					
講義内容	本講義では、交通事業における環境問題に関する重要概念を網羅的に解説するとともに、鉄道事業者をはじめとする交通関連企業の取組事例を紹介していきます。具体的には、社会全体の環境問題の範囲や制度的枠組み、環境問題を解決するための手法などについて、交通事業を例に取り上げるとともに、交通事業特有の環境問題とその対応策について説明していきます。					
講義スケジュール		タイトル	内容			
	第1講	オリエンテーション	授業の進め方、講義計画等の説明			
	第2講	環境政策1	環境問題の変遷と分類／緑地保全と生物多様性			
	第3講	環境政策2	政策手段としての規制・課税・補助金			
	第4講	環境政策3	気候変動・地球温暖化問題／排出取引			
	第5講	環境政策4	SDGsとESG投資／交通インフラの環境影響評価			
	第6講	環境経営1	環境報告書と統合報告書／シェアリングエコノミー			
	第7講	環境経営2	国際規格と外部認証制度／ロードプライシング			
	第8講	環境経営3	グリーン購入と廃棄物処理／ライフサイクルアセスメント			
	第9講	交通の大気汚染問題1	自動車排出ガス規制と環境技術の進展			
	第10講	交通の大気汚染問題2	モーダルシフト政策／都市交通の駐車対策／低燃費タイヤ			
	第11講	エネルギー問題1	自動車事業の事例（電気自動車、燃料電池車）			
	第12講	エネルギー問題2	鉄道事業の事例			
	第13講	エネルギー問題3	航空事業の事例／バイオ燃料			
	第14講	騒音問題	交通騒音の種類と特性／技術的対策／経済的手法と法的解決			
第15講	まとめ	今後の交通事業と環境問題				
指導方法	パワーポイントによるスライドを用いた講義を中心に行います。毎回、受講生には講義内容に関するコメントや復習テストを提出してもらいます。					
事前学習	授業前の事前学習として、各回の講義資料を一読し、未習の用語等について明らかにし、課題をもって授業に臨むことが必要になります。1時間30分程度の学習時間が目安です。					
事後学習	授業後の事後学習として、授業時に学習した以外の事例について参考文献を調べ、自分で考察をまとめることにより、授業で学んだ知識が定着し、理解を深めることができます。1時間30分程度の学習時間が目安です。					
成績評価方法	平常点（授業内での提出物）60%、本試験（期末レポート）40%で評価します。とりわけ授業内での提出物のうち、講義内容に対するコメントを重視します。また、期末レポートの書き方や評価方法について、講義中に説明します。					
課題（試験・レポート）に対するフィードバックの方法	毎回提出していただく課題に対する解説や講評を次回講義の冒頭に行います。					
テキスト	使用しません。講義資料ファイルを GoogleClassroom に事前にアップロードしますが、講義中にメモをノートにとる（またはパソコンに入力する）ことが必要になります。					
参考文献	講義中に随時紹介します。					
実務家教員による授業	教員	経歴				
特記事項	前提となる履修条件はありませんが、交通事業の基礎的な知識があると理解が深まります。					